

第3回 魅力あふれる公園づくり構想策定委員会 議事録**1 日 時**

令和4年11月1日（火）午後2時00分～午後4時00分

2 場 所

刈谷市役所 7階大会議室

3 出席した委員 12名

委員長：瀬口哲夫

委 員：杉浦世志朗、永田憲正、稲垣敏雄、深谷光秀、保田猪三郎、深谷理恵、高井智幸、
北川善己（代理：志賀雅樹）、山本純、石原章、岡部直樹

4 欠席した委員 2名

委 員：武田正雄、岡田行永

5 市民公園づくり会議（各公園代表者）

二段日華里、山口博子、山田裕子、大野裕史、天木敬子

6 事務局

清水課長、小川課長補佐、林工務係長、堀場主任主査、坂本主事
坂東課長、内田課長補佐、増田業務係長、松原主事

7 公開・非公開の別

公開

8 議題

- (1) 市民公園づくり会議の報告について
- (2) スケジュール

質疑

《議題（１）について》

説明（資料５：魅力あふれる公園づくり構想（素案））

①洲原公園

【委員】

洲原池周辺は以前から自然が充実している。モウセンゴケを探しに行ったことなど、思い出がすぐある。今は愛知教育大学ができ、洲原ロッジなどの施設がある。自然を感じるのはとても良いことだと思っており、今回の提案は本当に素晴らしく、これが実現できるといいなと思っている。

【委員】

公園の特色の中で「周囲に広がる松林」とあるが、今は松林がほとんど無いため、記載方法を変えたほうが良いと思う。

【委員】

洲原池は元々、農業用のため池だった。そういう意味では過去はこうだった、今はこうなった、これからこうなっていくことが少しわかるが良いと思う。例えば看板を作る。この周辺は用水が無く、ため池で水を取っていたことがわかるが良いと思う。

【委員】

この公園は他の４公園と違って、すごく自然をいかした公園ができると思うが、公園は人が集まりやすい場所であることから、防災面の活用があると良い。自然に囲まれた公園であることから、なかなか難しいかもしれないが、刈谷市総合運動公園など、建物がある所は防災時に活用しやすいと思う。この公園は刈谷市の中心からだいぶ離れているため、何か活用法もあると良いと思う。

【事務局】

防災的な取り組みについては、近隣公園など比較的大きな公園には災害時に人が集まることを想定し、マンホールトイレを設置している。今後、防災に関する整備や取り組みについても検討していきたいと思う。

【委員】

皆さんが言われる自然豊かという特徴が出ていると思う。愛知教育大学と隣接している所が特徴であるため、構想にもあるように大学との連携を今後深めて、特色ある公園作りをしていただきたい。

【委員】

丘陵地である地形がいかされていると感じた。池の中央に橋を作る場合は、規模が大きくなり、インパクトがある。事例として出ているものだと 10 数mであるが、この場合はかなり長いので、橋を渡る途中で飽きてしまう。橋を渡っても飽きない仕掛けなども将来の課題かなと思う。

②岩ヶ池公園

【委員】

集客数がディズニーランドと USJ の次くらいと言われているのは、岩ヶ池公園のみの集客数か、それともハイウェイオアシスだけの集客数か。また、一般道と高速道路からの利用者の割合はどのくらいか。

【事務局】

具体的な数字はないが、公園管理をする中で調査をしたことがあり、高速道路の利用と一般道からの利用が半々くらいと聞いている。

なお、集客数は岩ヶ池公園と刈谷 PA を合せた数字を刈谷ハイウェイオアシスとして公表している。

【委員】

ハイウェイオアシスやデラックストイレは有名だが、岩ヶ池などについては、来た人は「そんなのあるの?」と思っている。ポテンシャルが高いため、公園とハイウェイオアシスの魅力が重なれば、刈谷市としての魅力のあるエリアになる気がする。

【委員】

ハイウェイオアシスのすぐ近くで農作業をしている。ゴールデンウィークには、畑に行くのに隣の豊田市の方へ一旦出てから、戻ってこないといけないため、非常に辛い思いをしている。現在、駐車場の整備を行っているが、なるべく早く駐車場の整備と横断歩道や歩道の信号機などを整備していただけるとありがたい。

【委員】

先月 10 月 8 日に初めて市民公園づくり会議に参加をし、刈谷市の公園について、それぞれのグループの発表を見て、こんなことがあると初めて知ることができた。特にハイウェイオアシスは、相当数知られていると思う。それに合わせて岩ヶ池公園と全体がまとまれば、もっと刈谷市全体で発展して行くのではないかと思う。そういう意味では非常に期待している。例えば連休など長い時間をかけて、他所に泊まりに行くことよりも、ここに行けば食事もできる、温泉にも行くことができる、宿泊もできる、こんなにいい所はないと思う。非常に我々としては楽しみだと思う。一つ質問があるが、この構想はいつ実現予定か決まっているのか。

【事務局】

この構想は、時間軸を設定していない。ソフト面、ハード面も含めて、今後その取り組みを進めていくために活用したいと思っている。岩ヶ池公園はまだまだエリアとしては、小さなエリアとなっており、池の反対側に、大きな森を抱えている。この豊かな自然をいかしながら公園整備をして行きたいと考えている。

【委員長】

実現性について、この公園はポテンシャルがあると思う。ここには、大勢の人が来ているため、それだけの人数を支える必要がある。そうではないところで何か作ろうとすると税金で作ることになるため、利用者の負担はかなり大きくなる。それから、計画の考え方として、日本の場合は単年度の計画であるが、海外の事例を見ると10年、20年先の計画を立てて、国や議会の予算が通ると、少しずつ実現していく。最終的には市民の望んでいるものができる。あるいは都市の発展に資するものができるということがあるため、これは刈谷市としては思い切った挑戦である。

【委員】

ここは自動車を使った利用者がかかなり多いと思うが、最近のペットブームで、小動物を飼っている人もかなり多いと思う。例えば、サービスエリアでもドックランが併設されているようなところや、犬を飼っている方が楽しめるようなところ、宿泊も一緒にできるようなところなど、犬に優しい公園は人気があると聞いているため、その観点も必要だと思う。

【委員】

先ほどポテンシャルという所で、高速道路利用の集客が相当あるということであるが、私自身も高速道路を利用している間、長距離の運転をすると、子供を時々遊ばしてやらないと長距離運転できないことがあり、併設されている公園をよく利用していた。この公園はパーキングエリアからの距離があるが、ここに提案されているアドベンチャー遊具のような大きな規模であると、そういった人たちも充分取り込んでいく可能性があると思う。近隣住民は、特に時間を気にせず遊べるという人たちであるため、いろんな仕掛けさえすれば集客もできるのかなと感じた。

③刈谷市総合運動公園

【委員】

古い話であるが、逢妻川緑地と亀城公園をつなぐ、サイクリングロード構想を発表して、すごく好評だったことがある。洲原公園と岩ヶ池公園は緑でつなぐことになっているが、亀城公園と総合運動公園も繋ぐことができる。ランニングでもいいし、サイクリングでもいいし、マラソン大会も出来る距離であるため、公園同士で連携できると良いと思う。

【委員】

刈谷市総合運動公園は年に3回程度利用をしているが、芝生のところはうまく芝生が育っていない。芝生はグランドゴルフのコースであるが、非常に苦戦するコースである。また、細かい所でいうとトイレは和式を使う人はほとんどいない中で、この大きな公園でトイレが全部和式というのはちょっとおかしい話だと思う。それと、イベントを色々やっているが、外部から何をやっているのか分からないという意見があった。イベント案内の掲示を出したらもう少し違うのではないかなと思う。楽しさをみんなで分かち合うためには、こんなイベントをやっているとわかる掲示が欲しい。

【委員長】

刈谷市総合運動公園は一流の方がスポーツをしている場所でもあるため、いろんなイベントや大会の情報を公園と併せてどのように市民に伝えていくかも重要である。

【委員】

グリーンフィールドエリアに、インクルーシブな遊具を記載している。他の4公園ではなかったテーマかなと思う。愛知県では、ユニバーサルデザインに配慮した遊具という言い方をしているが、障害のある方も無い方も一緒になって遊べるというような意味で、今回インクルーシブという言葉を使っていると思う。テーマ性を持って構想を掲げているため、是非この構想が実現できるように取り組んでいただきたい。

【委員】

刈谷市総合運動公園は各施設、非常に利用率が高くなっており、市民の方に利用していただいていることはありがたいと思っている。そういった意味でも、右岸側に多目的な施設が確立されれば、スポーツに参加する機会が増えていくと思っている。多くの方にスポーツを見ていただく工夫も意見としていただいたが、そこも含めて考えていければと思う。

【事務局】

3点ほどご説明をさせていただく。1つ目は、サイクリングコースについて、現在、刈谷市総合運動公園から逢妻川の左岸を通過し、日高公園まで行けるようにサイクリングロードが整備されている。将来的には亀城公園までということで、現在、構造的にも検討段階ではあるが、今後、整備実施に向けて検討していきたいと考えている。2つ目は、トイレの和式について、2026年に開催されるアジア大会までに完了を目指し、今年度から屋外トイレの洋式化を公園緑地課で進めている。3つ目に、インクルーシブな遊具について、策定委員会の中で、福祉団体の方にもご参加いただいたらというご意見をいただき、市民公園づくり会議に、車椅子の方に何人かご参加いただいた。その方達からも、ご意見をいただき、幅広く、いろんな提案がされたのではないかと考えている。

【委員長】

市庁舎についても、和式の無くす方向なのか。

【事務局】

どちらも使えるようにしていく予定である。公園もすべて洋式化ではなく、1つ和式を残すなど、誰でも利用ができるようにしていきたいと考えている。

④亀城公園

【委員】

刈谷の歴史については、是非市民の皆さんに伝えていければと思う。公園の整備の話となるが、現在、池の水は濁っているため、きれいにしてほしい。桜の季節は多くの人で賑わいがあるが、資料にあったように、桜の時だけ人が来て、あとは人が来ないようなことが書いてあり、一番残念だ

などと思う。亀城公園はいわゆる刈谷の中央公園、シンボリック公園である。刈谷市といえば亀城公園となると良い。春は桜が素晴らしく、夏には池を眺め、秋は紅葉があるなど、四季折々で公園を楽しめるような公園整備をして行くと思う。観光協会でも、桜まつりだけではなく、大名行列をやったりするため、それなりの整備ができれば、刈谷の魅力をアップし、PR するいい場所になると思う。観光協会の事業としても、ぜひここを拠点にしてやっていきたいと思っている。他4公園も整備を進める必要があるが、まずは、この亀城公園から整備を進めてほしい。

【委員】

亀城公園は隅櫓やお堀を復元して、形を作っていくことには賛成である。ただ、この公園の整備だけではなく、旧城下町の整備も必要である。今でも江戸時代からある道が残っている。今は何も無いが、昔はこうだったと分かるものや、旧町名がわかると良い。たくさんの人に来てもらう、住んでもらうことで、万燈祭への関心も深まると思う。周辺と連携をしながら整備を進めてほしい。

【委員】

亀城公園周辺には、歴史の小径があった。以前、亀城公園周辺を歴史の町にしたいと委員長に相談したことがあった。今の刈谷球場を刈谷市総合運動公園の方に移設して、跡地に、江戸の城下町のような建屋を作って、地産地消で何かできるようなものがあると良い。公園には城を作って、歴史を感じる城下町風のもの、地産地消の要素を取り入れれば、毎日、人が来てくれることもあると思う。是非そんな構想もあるのかなのか、少し聞かせてほしい。

【委員】

刈谷球場の移設については、なかなか現実的に難しいと思うが、本来、公園の機能として、そこに野球場が必要かどうかも含めて、将来的に検討していきたいと思う。また、歴史の小径については、消えているわけではない。

【委員】

歴史の小径はまだある。ふるさとガイドボランティアが亀城公園周辺を一周するコースを年に二、三回、人を集めて回っている。

【委員】

現在、飲食・物販施設がなく、自販機しか置いていない。公園で集合して、ちょっとお茶を飲みたいねという時に、飲む場所がないため、自販機で買って日陰で飲むことしかできない。公園周辺も歩いていける範囲にあまり飲食店がないため、できるだけ早めに施設ができるともう少し人が集まれる公園になるのかなと思う。

【事務局】

先ほど亀城公園は中央公園という意見があった。亀城公園は昭和12年に開設した市内で一番古い公園であり、やはり刈谷の顔となるべき公園だと我々も思っている。今回、出張アンケートや利用者アンケートの結果からも亀城公園の人が少ないことから、これではいけないなど感じている。現在は、岩ヶ池公園の方が刈谷の顔のようになっているが、やはり街中にある刈谷の顔になる公園

として亀城公園の見栄えを持たせるような整備をして行きたいと考えている。

【委員長】

会議の前に寄ってきたが、やはり見通しが悪く、土墨になっているところも草がある。管理はしていると思うが、あそこに行く気持ちがいいなと感じることで、市民の関心が違ってくると思う。それでお茶を飲める所ができれば良い。

⑤フローラルガーデンよさみ

【委員】

私は野田地区に住んでいるが、大きい公園はここしかない。子供連れは車で来て、ここで遊ぶという事は良いと思うが、我々年寄りが散歩コースとして、野田から歩いて来る方が結構いる。心配なのはこの隣に工業団地ができてきていることである。大きな工業団地ができることで、自分の住むところの道路事情が悪くなっていくことを非常に心配している。この公園整備は良いが、公園までの道路整備を事務局に考えていただき、歩いていく人間に対して安全な配慮できるような道路整備を是非考えていただきたい。

【事務局】

この構想は公園を中心として、まちづくりへ繋げるところまでを要素としている。工業団地については、周辺の道路整備も同時に行なっており、現在の南側の県道には歩道が整備された。それ以外にも道路整備の予定はあるので、歩行者の安全が確保できるように進めて行きたいと考えている。

【委員】

公園の惜しいところの所で、メインストリートがいかされていないとあるが、どんな形で盛り込まれているのか、形としては変わってない感じがするため、皆さんでどのような意見があり、構想としてどうなるか聞かせてほしい。

【事務局】

フローラルプラザの目の前が広場になっており、インターロッキングで整備された広場だが、その利活用があまりされていないという意見だったと思う。今後はソフト的な要素、例えばマルシェが非常に好評だったりするため、マルシェの拡大であったり、イングリッシュガーデンを広げていきたいという意見もあるため、お花をたくさん増やし、賑わいのあるエントランスにして行きたいという意見だったと捉えている。

【委員】

もともと公園は自動車ではなく、徒歩や電車の利用を考えて作られていた。鉄塔に向かって、ミササガパーク、刈谷駅のところから入ってくる人をメインに考えて、このメインストリートを広く取っていた。現実的に実際に使う人たちはほとんど自動車で来るため、このメインストリートがもうほとんど必要とされていない。ここの活用としては、半分はイングリッシュガーデンのエリアとして取り組むという方法。残りの半分は子供のあそびとつどいのエリアとして取り組んで行くため、

メインストリートとしては、今後なくなっていくような整備になると思う。

【委員】

この5つの公園に関して共通していることは、どうやって利活用して行くのかという所である。誰かが企画運営する部隊がないと動かないものばかりである。施設管理でハード面の管理だけではなく、行事やイベント、講習会や勉強会などの企画運営する人たちがいないと、うまく動いていかないかなという気がしている。例えばPFIや、指定管理でも良いため、何かできるような取り組みを組み込んでいただきたい。

【事務局】

今回の構想は利活用のイメージで取りまとめている。その中で、運営・活用と施設整備とは構想の実現に向けた取り組みの両輪になっていると考えている。例えば、ボランティアガイドによる案内など、施設整備をしなくても、今から取り込めるような部分があると思う。多くの公園が指定管理者制度の導入をしており、そういったところも調整しながら、ソフト的にもハード的にも行っていきたいと考えている。

【委員長】

市民公園づくり会議では、「誰でも」、「いつでも」といった、みんなが使える公園にしてほしいというベースがある中で、本日意見をいただいたのは、公園相互の連携、公園周辺との連携、そして公園のアクセスに関するご指摘があった。そして、歴史を伝えることを大切にしていきたいとご意見をいただいた。実現に向けて様々な検討を行い、進めていっていただきたいというのが策定委員からのご意見であった。

《議題（2）について》

説明（資料6：スケジュール）

意見なし。

以 上